

令和2年度 児童発達支援自己評価（職員） まとめ

① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

- ・利用人数によっては狭く感じるような時もあるが、人数に対しては適切だと思う。

② 職員の配置数は適切であるか

- ・日によって手薄に感じる事もある。
- ・子どものその日の人数によってクラスを移動し、適切な人数で行っている。
- ・職員の休みなどが重なり人が少ない場合は、職員同士が連携して対応できているように思う。
- ・クラス担任以外の職員も介助に入っている。
- ・休みの職員がいた場合、きちんと人数を調整して配置する。

③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか

- ・玄関前にスロープが設置されている。
- ・トイレカードをドアの側に貼って子どもが伝えられるようにしている。
- ・手すりがついていたり、言葉が出ない子どもには絵カード（トイレ等）を室内に貼っておき、カードを使用して伝えられるよう促し声かけをしている。
- ・玄関口のインターホンの高さが車いすの人が押すには高すぎる。設備として、情報伝達等に十分に配慮しているとは言えない。
- ・クラスごとに考え、園児が無理なく動きやすい環境となっている。

④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか

- ・朝、夕、保育時間中の清掃、コロナ禍による消毒を行い清潔である。
- ・毎日掃除をし、心地よく過ごせるよう環境作りを心掛けている。
- ・毎日掃除をし、椅子等使用しない時は土間に出し、心地よく過ごせる環境作りを行っている。
- ・毎日掃除や消毒を行っており、空間は物を置きすぎず、活動しやすい空間づくりをしている。
- ・コロナの事もあり、喚起をこまめにしている。

- ⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか
- ・
- ⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか
- ・ 毎年保護者に評価表を記入してもらい、職員間で結果を共有し、業務改善につなげている。
 - ・ 評価の結果を職員間でも把握し、今後どう改善していくか検討し改善へとつなげている。（ケース会）
- ⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか
- ・ 評価の結果はホームページに公開されている。
 - ・ 結果をホームページに掲載し、保護者の方々が見る事が出来るようにしている。
- ⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか
- ・ 行っておりはと思うが、どのようにされてあるのか詳しくは分からない。
- ⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか
- ・ 研修の機会有り。
 - ・ 研修へは参加させて頂くことで学ぶ事が多く、活かしていると思う。
 - ・ 外部、内部とも研修の機会は確保できている。
 - ・ 月2回、勉強会を行っている。
 - ・ ケース会や外部研修を行っている。
 - ・ 入社当初に受講したティーチャーズ・トレーニングを活用している。
 - ・ 新しい職員については、数回に分け園内でティーチャーズ・トレーニングを実施して頂き、非常に勉強になった。
 - ・ 研修へ行った職員はしっかりと報告を行い、職員間で情報を共有している。
 - ・ 研修には参加しており、その報告は会議等で行うようにしている。
- ⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、

児童発達支援計画を作成しているか

- ・サービス等利用計画（保護者のニーズ）に沿って個別支援計画等を作成している。

⑪ 子どもの適応行動を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

- ・使用してあるかもしれないが、詳しく知らない。

⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか

- ・サービス等利用計画を元に具体的な支援内容を考え、個別支援計画を立てている。

⑬ 児童発達支援に沿った支援が行われているか

- ・それぞれに合った支援が行われている。
- ・支援計画に沿って一人ひとりに合った支援、介助を行うよう職員同士で連携をとっている。
- ・支援計画を常に話し合いながら支援が出来ているように思う。
- ・支援計画を作成し、支援している。

⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか

- ・クラス単位で行っている。
- ・担任同士で話し合い確認している。
- ・職員間で相談しながら行っている。
- ・個人で考えたものを他の担任に伝える事でアドバイスや意見をもらい、より良いプログラムにしていく環境にある。
- ・担任同士で交代しながら役割分担をしている。
- ・担任間で話し合いをしながらどのような活動を取り入れていくか検討している。
- ・毎回、クラスで立てている。

⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

- ・色々と工夫し、教材を手作りしたりして行っている。

- ・同じような内容にならないよう気をつけている。
- ・固定しないよう、他クラスのプログラムも参考にしている。
- ・教材を子どもたちが楽しめるもの、興味が持てるものをその都度準備するよう心掛けている。
- ・様々な楽しめる教材を使うようにしている。

⑩ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか

- ・半年に1回支援計画を見直し、子どもの状況に応じて支援計画を作成している。

⑪ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

- ・バス添乗等で打合せ出来ていない時があるように思う。
- ・今日の設定の事など、職員間で話し伝えている。
- ・支援開始前に打ち合わせることが難しい事もある為、申し送り内容を伝える時に支援内容や役割分担について確認する必要がある。
- ・行事などがある際は、必ず紙にまとめて流れや支援内容等を書いて共有している。
- ・開始前ではないが、担任が揃った時などは支援内容を統一する為話し合いを行ったりしている。
- ・内容は伝えるが、役割分担までは出来ていない。
- ・毎朝確認を行い、担任同士で役割分担を行っている。
- ・朝の申し送り、朝の保育前の時間等、職員間で行っている。
- ・個別支援会議での話し合いが事前に行われている。
- ・職員同士必ず打合せをし、確認している。

⑫ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日の行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

- ・必ず打合せを行ってはいないが、その日の気になった点については担任同士で振り返りを行っている。
- ・毎日、必ず振り返りが出来ていない為、毎日行えるよう徹底する。
- ・常日頃から支援後気になった事など、意見交換している。
- ・毎回、その日の振り返りを担任同士で行っている。
- ・必ずではないが、その日あった出来事等を情報共有し、アドバイスをもらっ

たりしている。

- ・気になる点があれば担任間で話し合い、どう対応すべきか考え支援の統一を図っている。
- ・あの時、どうしたら良かったのか等話し合い、次はどうするか等話し合ったりしている。
- ・必ず打ち合わせはしていない。

⑱ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

- ・毎日、支援項目以外にも気づいた点等は日誌の備考欄に記入している。
- ・毎日、連絡帳、日誌へと記録している。
- ・毎日日誌を記入し、見返す事が可能なようにしている。
- ・日誌の記録の徹底。

⑲ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか

- ・モニタリングの作成を行い、職員間でも話し合いを行っている。
- ・モニタリングは行えているが、モニタリングの時期がずれてしまう事がある。しっかりとモニタリングの時期を頭に入れ支援する必要がある。
- ・モニタリングは行われている。

⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

- ・園長先生や担任が参加するようにしている。
- ・担当者会議には担任が参加し、子どもの状況を説明している。

㉑ 母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか

- ・児童相談所等との連絡は密に取っている。

㉒ (医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか

- ・園医や子どもの担当医と医療証等を交わしている。

- ②④ (医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか
- ・看護師などが中心となり指示書等をもらっている。
 - ・家族との連携を図っている。
- ②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼児部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか
- ・学校見学、保育所との交流の実施。
- ②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか
- ・支援会議に参加。
 - ・情報交換の実施。
 - ・就学前は就学児の情報を伝え、共有している。こちらでの支援方法を伝える事もある。
 - ・進学の際、情報交換等の話し合いを持てている。
- ②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか
- ・研修等は参加するようにしている。
- ②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか
- ・保育所などの幼児との交流はなかなかないと思う。
 - ・コロナウイルスが流行っている為、保育所や他事業所との交流は出来ない。
 - ・同年代の子どもとの活動機会は今のところない。
 - ・小学校との交流はあるが、今年度はコロナウイルスの影響で無かった。
 - ・三池小学校との交流はしているが、今年度はコロナウイルス為、園長先生のみ来訪された。
 - ・現在はコロナウイルスの影響で行えていない。
 - ・今年度はコロナウイルスにより交流などは出来ていない。
 - ・コロナ禍で難しいところはあるが、出来る限り行っている。

- ・三池小学校の子どもたちとの交流をしている。今年度はコロナウイルスの影響もあり交流ができずに残念。

②⑨ （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか

- ・管理者が参加している。
- ・園長先生が参加されている。

③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

- ・個人面談、電話、連絡帳でのやりとりを密に行っている。
- ・連絡帳に記入したり、バス送迎時等に伝え、子どもの成長や困りごとについて情報共有している。
- ・連絡帳や電話で様子を伝える等工夫している。
- ・連絡帳を通して保護者に伝え、共通理解を持っている。
- ・連絡帳にて日々情報共有を行っており、あまり記入されていない保護者の方にはこちらから伺ったりもしている。
- ・連絡帳や口頭で出来るだけ伝えるようにしている。

③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか

- ・ペアレント・トレーニングの取り組みをしているが、もっとペアレント・トレーニングの良さを伝えていくとより保護者も楽しく子どもと関われるのかなと思う。
- ・毎年、保護者へアンケートを行いペアトレを実施している。

③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

- ・入園式の時に、契約書を通して説明されている。
- ・入園式の時、入園説明会で説明されている。

③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、

保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか

- ・個別支援計画が立ったときにはしっかりと保護者に説明し、同意を得た上で署名、捺印を頂いている。
- ・保護者に分かりやすい言葉で伝えるよう心掛けている。“絵カード使用”という言葉を使う事もある為、実際使うカード等見せながら説明すると、より分かりやすく伝わると思う。

③4 定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか

- ・定期的ではないが、連絡帳に記入された時、送迎時に話を聞いた時には助言や園での支援を伝えて参考にして頂いている。
- ・定期的ではないが、相談があればすぐに対応している。
- ・保護者からの相談は、都度対応している。
- ・連絡帳等を通して悩みなどを聞き、支援等を行う。
- ・家族から相談があった際は、上司に報告し必要な助言を行っている。
- ・個人面談を園長と担任、保護者で行い、相談や悩み事を聞いている。
- ・定期的ではないが、連絡帳にて悩みを書いてこられている保護者に対しては、助言を行っている。

③5 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

- ・保護者会がある。

③6 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか

- ・相談があればすぐに園長等に伝え、スムーズに対応できるようにしている。

③7 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

- ・月1回の園だよりを通して情報を発信している。
- ・月1回園だよりを配布。クラスだよりでは、子ども一人ひとりの様子を記入している。

③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか

- ・園外に持ち出さないようにしている。又、個人情報についての同意書を得ている。
- ・書類は持ち帰らないようにしている。
- ・個人情報の載っている。資料は丁寧に扱う。机の上に置く時は、個人情報記載面を下にして見えないようにしている。
- ・個人情報の破棄はシュレッダーを使用している。
- ・園でしっかり管理を行う。持ち出さない。

③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

- ・絵カード等を使用し、言葉があまり出ない子どもに対して情報伝達のツールとしている。
- ・分かりやすい言葉を使い話をしたり、イラスト、絵カードを使用している。
- ・園で取り組んでいることなどを保護者に伝える。

④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

- ・地域に密着した運営となっている。
- ・園行事（夕涼み会、どんど焼き等）には地域住民の参加もある。今年度はコロナウイルスの為、行事が出来ず残念。
- ・今年度は開催出来ていないが、どんど焼き等地域の方と協力し出来ている。
- ・毎年行っているが、今年度はコロナウイルスの影響で行事が無かった。

④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか

- ・訓練をしているが、忘れてしまう部分もある為、定期的に訓練していく必要がある。
又、保護者も交えた訓練（引き取り訓練）も実施すると、発生時落ち着いて対応出来ていくと思う。
- ・訓練前と後にしっかりマニュアルを再策定し、職員同士でしっかり意見交換できている。
- ・避難訓練を毎月実施している。ケース会等で訓練を行っている。
- ・勉強会や訓練を行っている。

- ④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか
- ・毎月1回、避難訓練を行っている。
 - ・土砂災害等に備え、園バスに乗り避難をする訓練を行っている。
 - ・土砂災害が起こった時に避難をする時の人数配分を毎日確認している。
 - ・実際に子どもたちを交えて出来た為、子どもの動きや状況を知ることが出来た。
 - ・毎月の訓練、又、反省会の実施。
 - ・災害の訓練を行っている。
 - ・訓練を定期的に行っている。
 - ・月1回避難訓練をしている。訓練慣れしている為、毎回危機感を持って訓練に臨みたいと思う。
- ④③ 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか
- ・毎年年度初めに保護者に服薬等の確認はしている。
 - ・保護者等に確認をしたし、資料を見たりしている。
- ④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか
- ・指示書を元に調理師と連携をとったり、保護者とも連携を行っている。
 - ・食事のメニューが他児と違うことで嫌になる事が無いように、メニュー内容や食事する環境等に配慮してあることに感動した。
 - ・アレルギーのある子どもの食事に関しては、調理師や職員同士で確認を徹底している。
 - ・担任同士で必ず確認し、提供する。
 - ・給食室では、個人ごとに何のアレルギーなのかを表にしている。
 - ・日々の献立の食材をチェックし、保護者、担任、給食室で連携してアレルギー除去、代替え食を対応している。
 - ・アレルギー食を作った後に他の職員と一緒に確認する。
 - ・アレルギーのある子どもには、保護者や医師に確認している。
- ④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか
- ・会議やケース会で共有して対処法を考えている。
 - ・ヒヤリハットを作成し、同じことが無いようにする。
 - ・ヒヤリハットが起こった際は用紙を記入している。
 - ・ヒヤリハット事例集のファイルはあるが、見ていない事もある為、全職員で共有する

必要がある。

- ④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
- ・ケース会の中で虐待防止について話し合いをしたり、虐待の事例が起きた時はその都度自分の支援方法の見直しをしている。
 - ・虐待防止等の研修には参加するようにしている。
 - ・虐待は絶対行われることが無いよう、研修会にて職員皆で話し合い参加出来ている。
- ④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか
- ・バギー等を使用している子の保護者に同意を得た上で、同意書を書いて頂いている。
 - ・身体拘束は行っていない。